

高島市議会議員

早川ひろのり
市議会レポート2020
秋

発行責任者:早川浩徳 〒520-1613 高島市今津町上弘部452 TEL:0740-22-0250 E-mail: hiro_0202aq@tulip.ocn.ne.jp
http://www.hayahiro.net



皆様には日頃から温かいご支援を賜り感謝申し上げます。
また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な面でのご苦労があることにお見舞い申し上げます。今回は今年一年の活動についてお知らせさせていただきます。大きな内容としては「新環境センターの白紙」などを取り上げています。

環境センター後継処理施設はいったん白紙に

本年5月に、朽木宮前坊地先に建設が予定されていた環境センター後継処理施設について、「一旦、白紙に戻す」との方針が示されました。

私たちはかねてより、「予定地周辺への浸水リスク」「安曇川下流域への水害リスクの増大の恐れ」などにより懸念を表明してきました。

本年2月には、議員有志9名により、対案として現行環境センターの建て替えの提案もしてきたところです。

市内のゴミ処理等、環境センター自体は不可

欠なもので、いずれかの方法で後継処理施設を確保していくことは必須です。今後、改めて後継処理施設をどのように検討し、進めていくかは慎重な議論が必要となります。しかしながら、地球温暖化などで以前では考えられなかったような異常気象が予想される中、将来にわたって市民の安全安心を確保するためにはどうすべきか、地球環境に負担を与えないためにはどのような方法を選択すべきかといった視点を踏まえて検討を進める必要があると考えます。

気候非常事態宣言の請願を採択

現在、CO2濃度の上昇に伴って地球規模の気候変動が起こり、次世代の未来に対しても脅かす恐れが出ています。こうした地球規模の気候変動に対して、緊急行動を呼びかける自治体が増え、世界では30か国1700を超える自治体が「宣言」を出しています。

そうした中で、高島市としても「気候非常事態」を宣言し、市民と危機感を共有し、さまざまな取り組みをおこなうべきではないかとの請願が出されました。

地球規模の気候危機は人類全体にとって避けることのできない解決すべき課題であり、従来のような横並びでなく、自治体として率先してこれに取り組み、掛け替えのない地球環境を未来の世代に守り伝えるべきと考え、賛成しました。



議会ではこんなことをやりました

一般質問

本年の議会での主な一般質問は以下の通り。

1. 新型コロナウイルス感染症にかかる小中学校の対応について（2020年6月議会）

小中学校における新型コロナウイルス対策について校内、部活動、登下校時などの対策と指導、および今後を見据えたオンライン授業への準備について質問しました。

熱中症予防とバランスをとり、特にバス通学ではバス会社による消毒等の協力を得ながら対策を行なっていること。オンライン授業の検証や機材の準備なども行なっていると答弁がありました。

2. 本市における障がい者スポーツへの考え方はどうか（2020年3月議会）

障がい者スポーツは障がいの程度の維持や改善、健康の維持増進という側面だけでなく、障がい者の自立と社会参加の促進に寄与するという大きな役割があること。滋賀県障害者スポーツ協会が実施している障害者スポーツ広場事業への協力や、民間のスポーツクラブや福祉事業所との連携など進めていきたいと答弁がありました。

3. 教職員の働き方改革における変形労働時間制導入の現状について（2020年3月議会）

導入と併せて教職員の業務量の削減、それから教員個々のワークライフバランスの確保につながるよう努めたい。また、学校関係者、保護者代表などによる「働き方改革に関する懇談会」でのご意見を聞きながら進めたい。

業務量の削減についても、校務用パソコンのタイムカード機能を活用し、労働時間の把握を行いながら取り組んでいきたい、と答弁がありました。

4. ビワイチのナショナルサイクルルート指定への対応について（2020年9月議会）

ナショナルサイクルルートに指定されたことにより、今後、国や県が発信元となる情報提供が盛んに行われ、ますます利用者の増加が期待できるので、サイクリストの方々が休憩を兼ねて観光に立ち寄られ、あるいは宿泊するための受け入れ態勢を強化していく必要があると考えている、との答弁がありました。

5. 近江今津駅周辺地の活性化について（2020年9月議会）

今年度、「近江今津駅周辺地域まちづくり構想」の骨子作成を委託しており、旧庁舎予定地も含め、駅周辺における各種施設の設置状況、観光素材の分布状況、または公共交通の乗り入れ状況などを整理し現状や課題の把握を進めています。

骨子作成では、北陸新幹線の金沢・敦賀間の開業に伴い、人の流れが増加するし、新たな観光客の増加が期待できるので、特急列車停車駅である近江今津駅においても、観光客の受け入れ態勢を整え、周辺地域の活性化に繋がられるよう進めています。この骨子から次の構想を策定するが、策定にあたり地域住民の意見や思いをお聞きすることは大変重要であり、機会を設け何らかのたたき台をお示しして進めていきたい、との答弁がありました。

会派解散により、無所属となりました

報道等でご存知の方もおられると思いますが、このたび所属政党（国民民主党）が解党になったことで、会派「夢ネットたかしま」が解散となりました。その結果、「無所属」となりました。

